

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H24.8.3 第180回国会第6号

8月3日(金)、第6回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・玄葉外務大臣から報告を聴取しました。
- ・玄葉外務大臣、松原国務大臣(拉致問題担当・国家公安委員会委員長)、後藤内閣府副大臣、中野外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

竹内 譲君(公明)

- ・北朝鮮における、金正恩国防第一委員長への共和国元帥の称号の授与、李英鎬(リ・ヨンホ)軍総参謀長の解任などの動きがあったが、その意味や背景についての外務省の見解を伺いたい。
- ・最近の動きをふまえ、北朝鮮では、これまでの強硬路線からの変更のきざしがあるとの見方に対する外務省の見解を伺いたい。
- ・最近の北朝鮮の変化が、拉致問題解決に与える影響はどのようなものか。また、膠着状態にある六者会合とは別に、日朝の対話開始の是非について、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

笠井 亮君(共産)

- ・拉致問題に関して、玄葉外務大臣は、北朝鮮の朴宜春(パク・ウィチュン)外相も出席していたASEAN地域フォーラム閣僚会合(平成24年7月12日)にどのような姿勢で臨んだのか。また、北朝鮮は日本の主張に対し、どのような反応を示したのか。
- ・北朝鮮外務省報道官が、核実験を「軍事的措置」という言葉で表現したこと(平成24年5月22日)に関し、これまで北朝鮮がその言葉を使ったことがあったか。また、「軍事的措置」だとすれば、様々な国際的取決めに違反することになるという見方に対する玄葉外務大臣の見解を伺いたい。
- ・膠着状態にある拉致問題の事態打開に向けて、拉致被害者家族の気持ちをふまえた拉致問題の解決策について、松原国務大臣の考えを伺いたい。

中島 隆利君(社民)

- ・進展のないまま10年が経過しようとしている拉致問題について、松原国務大臣の評価を伺いたい。
- ・圧力の強化によって拉致問題が進展していない現状をふまえ、日朝協議、それにつながる六者会合など多国間の枠組みの中で、日本がイニシアチブを取って、対話につなげていく必要性について、松原国務大臣の見解を伺いたい。

高野 守君(民主)

- ・大臣に就任してから今日までの松原国務大臣が行った拉致問題の解決に対する取組内容について伺いたい。また、拉致問題の解決に向けた方策はどのようなものかを考えているのか。
- ・金正恩国防第一委員長の夫人同伴写真公表や新しい経済政策にみられる、北朝鮮の変化の可能性に対する外務省の見解を伺いたい。
- ・李英鎬軍総参謀長の解任が、北朝鮮国内で軍から党に主導権が移るきっかけと考えることができるかについて、外務省の見解を伺いたい。
- ・現在の北朝鮮に対する中国の影響力について、また拉致問題解決のために、どこまで日本が中国の影響力を活用できるかについて、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

大山 昌宏君(生活)

- ・特定失踪者藤田進さんの事案について、政府はどのような認識をもっているのか、伺いたい。
- ・7月20日に拉致被害者家族会代表の飯塚繁雄さんから、

拉致された可能性を排除できないすべての失踪者の再調査を求める要望書を埼玉県警に提出したが、警察庁としてどのように対応していくのか、伺いたい。

- ・「拉致問題関係府省連絡会議」の下に設置された7分科会での協議の内容及び今後の進め方について伺いたい。
- ・北朝鮮に埋葬された日本人の遺骨について、返還や参拝を受け付けるとしている北朝鮮側の動きに対する政府の見解を伺いたい。

古 屋 圭 司 君 (自 民)

- ・松原国務大臣は「拉致被害者家族が亡くなった後に、拉致被害者が戻っても、拉致問題の解決とは言えない」と発言したが、この考えに変わりはないか。また玄葉外務大臣はこの考えを共有し、この考えを対外的に発信しているのか。
- ・北朝鮮が日本人の遺骨返還を提案しているが、日本の世論を拉致問題から逸らそうとする意図を感じる。遺骨返還問題と拉致問題は全く次元の違う問題であるが、このことについて両大臣はどのように認識しているのか。
- ・北朝鮮のミサイル発射(平成24年4月13日)を受けて自民党が藤村内閣官房長官に出した「対北朝鮮追加措置に関する申し入れ」について、両大臣はどのように受け止めているのか。同「申し入れ」のポイントである携行金額の上限額の引下げと朝鮮総連副議長を再入国不許可の対象とすることについて、松原国務大臣の認識を伺いたい。
- ・中国における北朝鮮による米国人留学生拉致疑惑(2004年8月14日)について、米国防務省はどのように受け止めているのか。松原国務大臣自らが米国会に働きかけて、米国政府を動かすべきであると考えているが、いかがか。
- ・特定失踪者について、玄葉外務大臣は外交の場で言及しているのか。新たな拉致被害者認定について前向きに取り組むべきであると考えているが、松原国務大臣の認識を伺いたい。